

メド社から輸入したレトロウイルスベクターを用いて HSV-TK 遺伝子導入細胞を GMP 基準に準拠して調製し、品質試験を行う (図 8)。また、ハプロタイプ一致ドナーからの造血幹細胞の G-CSF 製剤による動員 (mobilization) 後のアフエレーシス<sup>\*6</sup> 及び同一ドナーからの遺伝子導入用リンパ球アフエレーシスは、国立がんセンター中央病院で行われる計画である (図 8)。

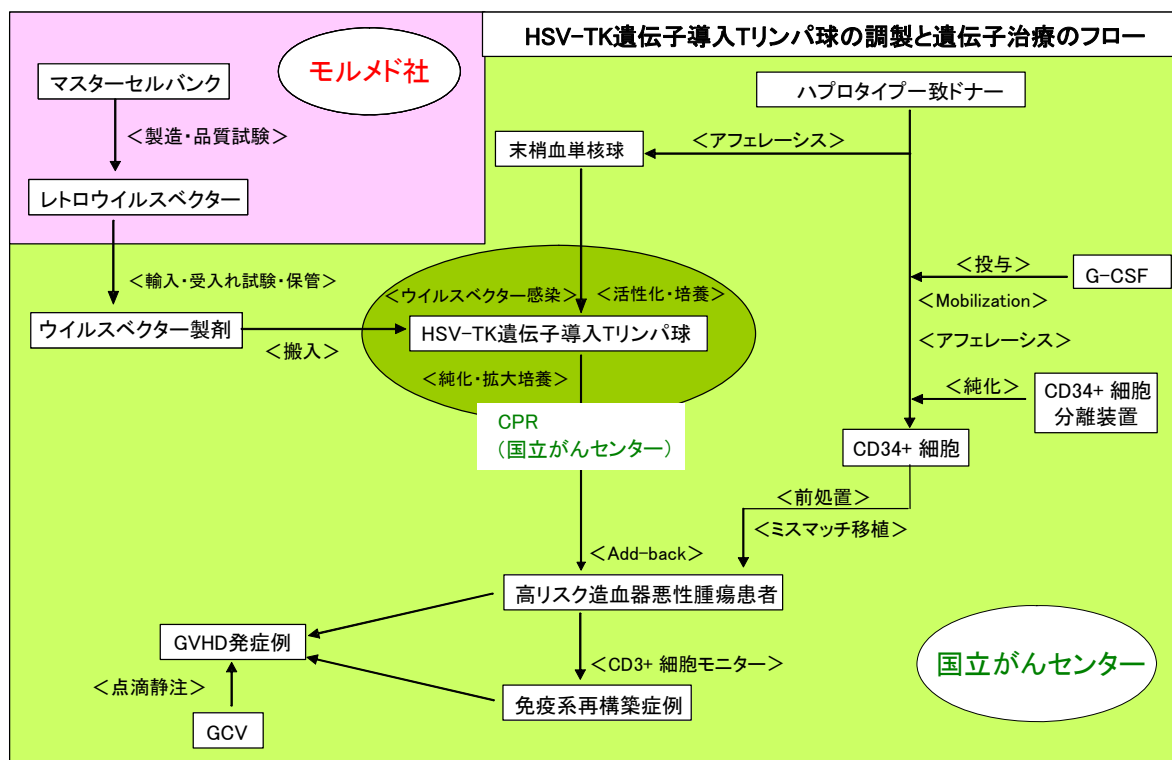


図 8 HSV-TK 遺伝子導入 T リンパ球の調製と遺伝子治療のフロー